

平成29年度志木市一般会計・特別会計決算の概要

■ 一般会計

<決算規模>

- ・歳入総額 238 億 8,168 万円【前年度：232 億 1,976 万円（2.9%増）】
- ・歳出総額 220 億 5,234 万円【前年度：217 億 8,524 万円（1.2%増）】

<収支状況>

- ・歳入歳出差引額 18 億 2,935 万円【前年度：14 億 3,452 万円】
- ・実質単年度収支額 4 億 8,095 万円【前年度：▲3 億 4,764 万円】

一般会計決算の特徴

- 歳入は、個人市民税等の市税の増や、総合福祉センター改修事業債、柳瀬川図書館大規模改修事業債などの市債の増などにより、前年度比 6 億 6,192 万円の増となった。
- 歳出は、公共施設安心安全化基金積立金の減等により総務費などが減となったものの、総合福祉センター改修工事に伴う民生費の増や、柳瀬川図書館大規模改修工事に伴う教育費が増となったことなどから、前年度比 2 億 6,709 万円の増となった。
- 実質単年度収支（財政調整基金の増減を控除した、当該年度の実質的な収支を把握する指標）は、昨年度の赤字から転じて 4 億 8,095 万円の黒字となった。なお、財政調整基金残高は、前年度から 9,951 万円増の 25 億 6,638 万円となっている。
- 財政構造の弾力性を表す経常収支比率は 93.0%で、前年度（94.3%）より 1.3 ポイントの減となった。
- 地方自治体の財政状況の健全度を示す健全化判断比率は、実質公債費比率が 1.0%（前年度 0.6%）となったが、実質赤字比率、連結実質赤字比率及び将来負担比率については算出されなかった。
これらのことは、本市の財政状況が健全であることを示している。
- 平成 29 年度末の市債残高は 159 億 9,915 万円で、総合福祉センター改修事業債や臨時財政対策債の増などにより、前年度から 5 億 2,813 万円の増額となった。
なお、市民 1 人当たりの市債残高は 21 万円となっている。

■ 特別会計

(単位：万円)

	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額
国民健康保険特別会計	923,010	863,923	59,087
志木駅東口地下駐車場事業特別会計	5,041	4,564	477
介護保険特別会計	438,840	411,377	27,464
後期高齢者医療特別会計	87,176	85,515	1,662

※ 表示単位未満を四捨五入しているため、計算が合わない箇所がある。

■ 企業会計

(単位：万円、税抜)

	収 益	費 用	経常損益	特別損益	純損益
水道事業	131,604	116,366	15,159	79	15,238
下水道事業	195,661	180,078	17,374	△1,791	15,583

記者発表資料
 平成30年8月30日
 総務部財政課
 担当/副課長・寺嶋 勝浩
 電話/048-473-1111 内線 2251
 志 木 市